



濁川中だより

〒950-3134

新潟市北区新崎 5437 番地

Tel 025-259-2150

<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

式辞

校長 武田 統理

本日、濁川中学校学校運営協議会会長、赤間松次様、PTA 会長、富樫貴様、濁川小学校長、高島純様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、令和六年度新潟市立濁川中学校入学式を挙行できますことを、心より御礼申し上げます。

六十六名の新入生のみなさん、入学おめでとうございます。在校生、そして教職員一同、心からみなさんを歓迎します。今、名前を呼ばれ立ち上がる一人一人の凛々しい姿から、大きな期待を感じさせてもらいました。

濁川中学校の教育目標は「ねばり強く 創造的に生きる たくましい生徒」です。目標の真ん中に、「創造的に生きる」、つまり、今までにない新しい価値を創ること、が謳われています。

みなさんの小学校生活六年間で、社会は大きく変化しました。ウィルス感染による社会の混乱は、それまでの「当たり前」をことごとく打ち壊してきました。また、タブレットの導入は、授業だけでなく学校そのものの在り方を変えましたし、人工知能・AI の発達は今後、学校だけでなく人間の役割や存在さえ問われる時代となります。その中でこれから皆さんが送る学校生活は、みなさんのお父さん、お母さんが経験したことのない中学校生活となります。つまり、新しい道を切り開き、新しい価値をつくっていくことが求められる、ということです。そのためには、正しい答えをより多く答案用紙に書く力ではなく、自分の身の周り、学校、地域、そして社会で起きている様々な問題について「自分の頭で考え、判断し、行動する力」が求められます。

そもそも「正しい答え」そのものが社会の変化や新たな発見などにより変わっています。

例えば、鎌倉幕府成立は、私が中学校の頃は 1192 年と教えられ、答案用紙に書き、正解として○をもらっていましたし、私も若い頃は 1192 年と教えてきました。しかし、近年の研究によって、皆さんが知っている通り、今は 1185 年が有力となっています。過去に起こったことでさえ、正解は変わる、ということは、今の新しい知識も、これからどんどん上書きをされ、変わっていきます。つまり、「正しい答え」は、与えられたものではなく、「自分で自分なりの答えを見つけていく」ということです。

そのために、まず自分の頭で考えること。今までこうだから、先生に、友達に言われたから、という当たり前を疑い、まず、自分の頭でしっかり考えてください。その上で、どうするか判断する。しかし、判断するにはより多くの情報や経験が必要となります。そのため、多くの人と対話することが大切です。それも、自分と違う考え方や感じ方の人、自分にはない経験をもつ人をとの対話を大切にし、その人の意見を聞きながら、自分の考えを組み立て直すことで、判断はよりよいものになります。

そして実行する。これも一人でできることは限られています。周りと力を合わせ、成功と失敗を繰り返し、自分たちの創り出した答えを実現する。これは先に言った教育目標の「たくましく」と「粘り強く」に込められている願いでもあります。

濁川中学校では、生徒会活動による自治的な活動を学校生活の中心としています。そこでは生徒同士だけではなく、先生、地域との対話も大切にしています。3月には今年度の生徒会の会長、副会長、書記長と、校長室で今年度の取組について対話する場をもちました。それぞれが意見を出し合い、みんなで判断し、よりよい学校づくりを目指してみんなで行動することを確認しました。

また、中学校では、総合的な学習をはじめ、地域にどんどん出て、行動する場面がたくさんちりばめられています。地域の方々との対話を通し、一緒に活動することで、教室の中だけではできない学習と経験をしていきます。

「中学校では、自分たちで目的を考え、自分たちで達成するということを学びました。このことは、将来でも生かせると思いました。」今の二年生の一人が、総合学習の振り返りの中で書いてくれた言葉です。皆さんがこの三年間での対話を通した学びと経験により、「自分の頭で考え、判断し、行動できる生徒」に成長し、新たな濁川中学校を築いてくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日より大切なお子さまをお預かりします。お子さまの命を守り、安心かつ安全に学校生活を送れるよう、そして子どもたちが自分の成長を実感できる学びが展開できるように、教職員一同、全力で指導に当たっていきます。

ただし、子どもたちの育ちの場は学校だけではありません。ご家庭、地域、学校の連携がきわめて重要であり、お互いの立場を尊重し、補い合い、信頼関係を築いてこそ、初めて成果があがるものと考えております。本校では、子どもたちの経験の強度を上げるため、地域から多大なご協力をいただいております。今後もご家庭、地域との連携、協働をさらに強め、地域の宝である子どもたちのよりよい成長を支える学校づくりを行って行く所存です。

結びに、本日、ここにご参列いただきましたすべての皆様からご支援、ご協力を賜りまわりますようお願い申し上げます、式辞といたします。

新入生代表誓いの言葉

澄んだ空気が心地よく、桜の花が咲き誇り、暖かい春を感じる今日この頃。私たち六十六名は、それぞれの目標と希望を胸に、濁川中学校の門をくぐりました。コロナ禍で過ごす長かった日々がようやく落ち着き、以前のように同じ学び舎で切磋琢磨し合える日々が戻ったことに、喜びを感じています。制限のない日々が戻りつつある今だからこそ、仲間とともに協力し、励まし合える中学校生活を送り、身も心も成長できるよう努めていきます。

私は、有意義な学校生活を送るために、二つのことを頑張りたいと思います。

一つ目は、勉強です。中学校では学習内容がより一層難しくなるため、授業に集中し、真剣に取り組みたいです。また、学習に関わる提出物の期限を守ることも、学習する上でとても重要なことだと考えます。時間厳守の意識を常にもち、学習に取り組んでいきます。さらに、予習や復習などの授業以外の学習にも力を入れて、勉強と真摯に向き合っていきたいです。

二つ目は、規則正しい生活です。中学生になると、家庭学習や部活動などが忙しくなり、生活リズムが崩れてしまうことが考えられます。特に睡眠は勉強やスポーツなど、様々なところに影響が出るので、早寝早起きを心がけます。また、中学校生活でも時間を上手く活用し、充実した毎日が過ごせるよう行動していきたいです。

今述べた思いを決して忘れず、私にとってこの三年間が悔いのない中学校生活になるよう、精一杯努めることをここに誓います。最後になりますが、校長先生をはじめ、諸先生方、先輩方、地域の皆様、どうか温かい目で見守ってください。これからどうぞ、よろしくお願いします。

歓迎の言葉

彩り豊かな花々が咲き誇る、美しい季節となりました。新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。私たち在校生一同、皆さんとともに学校生活を送れることをとても楽しみにしていました。

今日から濁川中学校での皆さんの新しい生活が始まります。この日をどのような気持ちで迎えられているのでしょうか。新しい生活に期待でいっぱいなのではないでしょうか。もしかしたら、不安な気持ちもあるかもしれませんが、でも大丈夫です。中学校はとても楽しいところです。なぜなら中学校は自分たちで考え、自分たちでいろいろなものを創り出して行く場だからです。その過程で自分たちが創り上げる楽しさを味わうことができます。

委員会活動では委員会ごとに相談しながら自分たちで学校をよくするための企画を考え、活動しています。部活動でも上達するためにはどうしたらいいか自分たちで考えて練習しています。また学校行事は、先生からではなく、自分たちが企画し、運営します。体育祭は競技内容も歌やダンスなどの応援も自分たちで考え実行します。合唱祭ではソプラノ、アルト、テノールの三つのパートに分かれて練習します。そしてどのように練習するかも生徒自身で考えます。パートごとに特徴があり、合わせるのが大変ですが、練習を積み重ね、一つの合唱として完成した時の美しい響きには感動します。普段の授業でも自分たちで考えて活動する場面が多くなります。国語では話し合い、ディベート対決も行いました。理科では実験も増えますし、数学では難しい問題を班の皆なで考え発表することもありました。このように中学校では自分で考え、行動することで充実した三年間を過ごすことができるでしょう。しかし、中学校での三年間はあっという間に過ぎていきます。そこで私は皆さんに、中学校での日々を何気なく過ごすのではなく、夢中になれることや目標をもち、自分から積極的に行動して欲しいと思います。そうすることで中学校生活が何十倍も豊かになると、二年間過ごして実際にそ

う感じたからです。時には辛いことやわからないこともあるかもしれませんが。そんな時はぜひ、周りの先輩方や先生方に気軽に相談してください。優しく丁寧に教えてくれます。そして一緒に充実した学校生活を送りましょう。

最後になりましたが、新入生の皆さんの今後のご活躍を心からお祈り申し上げ、歓迎の言葉とさせていただきます。

前期始業式 新たな気持で決意を披露しました

2年生の抱負

僕は、2年生になって頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、勉強です。僕は小学生の頃、算数と国語が苦手でした。苦手意識をなくしたいという思いで、1年生の時、数学では予習や復習を欠かさず行ったり、ワークを何度もやったり、授業中自分の意見を発表したりしてきました。国語では、長文問題や作文の練習をしたりしました。その結果、数学と国語の苦手意識をなくすことができました。2年生になっても、継続して学習に取り組んで、400点以上を目標に頑張っていきたいです。

2つ目は、陸上です。僕は、中学校に進学してからアルビレックスランニングクラブに入り、練習に取り組んでいます。今は、100mハードルという種目に出場しています。2年生になると、今よりも距離が110mと長くなるし、ハードルの高さもすごく高くなるので、日々の練習に今まで以上に集中して取り組みたいです。そして、目標とするタイムを突破できるようになりたいです。

3つ目は、生活面です。生活面では、朝起きる時間や夜寝る時間を一定にしたり、3食を必ず食べたり、規則正しい生活を心がけていきたいです。

僕は、これらの3つのことを頑張ることで、今まで以上に充実した中学校生活にしていきたいです。

最高学年の決意

新年度がいよいよスタートしました。

3年生に進級して、新たな気持ちで中学校生活最後の1年を過ごしていきたいと、今、強く思っています。

昨年度、学習面では1年間の経験から、気持ちに少し余裕が生まれました。しかし、そのことから緊張感が弱まり、自主的に取り組むべきことが十分達成されませんでした。基礎的な積み重ねや授業の見直しなどがおろそかになったことで、理解が曖昧になり、結果につながりませんでした。

今年度は、今後の人生にとって大きな分岐点でもある受験を経験します。今一度気持ちをふるい立たせ、立ち向かっていきたいと思えます。具体的には、目標をもち、見通しをもって学習し、確実に学力を身につけていきたいです。また、苦手な数学を克服できるようにし、得意な社会もさらに学びを深めていきたいです。

生活面では、中学校の最高学年となることから、様々な場面で自覚と責任が求められます。今まで、どちらかと言われてから動くことが多かったと思います。今の状況を見て、自分から動くことはあまりありませんでした。そこで、委員会活動や部活動で、自分の役割を自覚した行動や、お互いに助け合ったりするなど、自分事として主体的に活動していきたいと考えています。そして、巻1. 2年生をうまくリードし、よき先輩となれるよう努力していきたいです。

卒業式では、やり切った満足感と次のステージへの希望を胸に、濁川中学校を巣立っていきたいと思えます。

令和6年度 職員紹介

学年	氏名	教科	部活動	委員会
1 学年担当 (主任)	若木 聡	数学	野球、サッカー、(陸上)	応援
1 学年担当	佐川 詩織	社会	卓球	代議、選管
1 学年担当	滝澤 和真	理科	バレーボール	生活
1 学年担当	塩田 祐子	家庭	卓球	
2 学年担当 (主任)	仲村 明子	英語	バレーボール、卓球	代議
2 学年担当	渡辺 百香	保健体育	ソフトテニス	保健給食
2 学年担当	猪俣 克	保健体育	野球	応援
2 学年担当	若林 功達	技術	ソフトテニス	
3 学年担当 (主任)	及川 陽子	国語	卓球	図書
3 学年担当	石川 大	数学	ソフトテニス	環境福祉
3 学年担当	伊藤 綾香	音楽、国語	(水泳、バドミントン)	生徒会本部
4、5 組 3 学年担当	本間 智圭	社会	サッカー	代議、選管
校長	武田 統理			
教頭	間宮 智子	社会		
教務主任	石井 隆浩	美術	美術	
生徒指導主事	斎藤 良彦	理科	野球、サッカー	生活
特別支援コーディネーター4、5 組担当	津野 恭子	英語	美術(柔道、硬式テニス)	環境福祉
初任者指導	平松 憲夫	初任者教員の指導を担当します。		
養護教諭	大橋麻理子	保健室、健康管理担当です。		
事務職員	阿部 凧紗	事務を担当します。		
用務員	宮脇 孝博	校地内の用務を担当します。		
図書館司書	石田 弘志	図書館教育の担当をします。		
地域教育コーディネーター	高野 洋子	地域と学校をつなぐお仕事をします。		
支援員	佐藤 弘子	学校内の様々なお手伝いをさせていただきます。		
教員業務支援員	名古屋智子	学校内の様々なお手伝いをさせていただきます。		
ALT	真島知八貴	英河合の担当をします。月に2回程度来校します。		
スクールカウンセラー	大越 陽平	教育相談の担当をします。		

生徒のよさを、全体でみとりたいというねらいで、グループ担任制としています。

ホームページ更新中



生徒の活動の様子を、ホームページの「最新情報」に写真とともに掲載しています。他にも、月予定や学校だよりを随時更新していきます。ぜひご覧ください。

